

ScanGear Toolbox 3.1

スキャンギア ツールボックス

ユーザーズガイド

for Windows



Canon Solutions

スキャナを使用する場合には、次の点に十分ご注意ください

- ・紙幣、郵便切手、印紙ならびに国債や株券等の有価証券、免許証や旅券等の証明書等の複製は、偽造罪等により刑事罰の対象となる場合があります。
- ・他人の著作物を権利者に無断で複製することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真等を複製する場合には肖像権が問題となる場合があります。

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
 2. 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
 3. 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。
 4. 本書の内容の一部は、アドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
 - ・ ScanGear はキヤノン株式会社の商標です。
 - ・ Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
 - ・ Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
 - ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
-
- ・ 本書では、特に必要のない限り、Windows 98、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows Millennium Edition をまとめて Windows と表記しています。
 - ・ 本書では、Windows の各バージョンで共通の操作を説明する場合、Windows XP Professional の画面例を使って説明しています。ただし、実際に表示される画面とは異なる場合があります。

このガイドのボタンの使い方

第1章
Toolbox 基礎の基礎

Toolbox のボタンの機能 (1 / 2)

Toolbox のメイン画面には、次のようなボタンが用意されています。ここでは、各ボタンの機能を紹介します。
実際の各機能の設定方法については、→「第2章 Toolbox の」

[メール]
原稿をスキャンした後、メールソフトを起動し、その画像ファイルを添付した新規メールを作成します。画像ファイルは、添付に適したファイルサイズに圧縮することができます。

[OCR]
原稿をスキャンした後、OCRソフト（画像データを文字データに変換するソフト）を起動し、その画像ファイルを開きます。キャノスキャンセットアップ CD-ROM からインストールした場合、e.Typist エントリーがリンク（登録）されています。

本文中、他のページを参照できる箇所には、「→」のマークが付いています。この「→」をクリックすると、参照先のページにジャンプします。

ここをクリックした後、知りたい箇所にマウスポインタを合わせてクリックすると、ヘルプ画面が表示されます

Toolboxを終了します

[設定]
スキャナ前面のボタン機能を設定するときに使います。複数台のスキャナを接続している場合は、スキャナの

1つ前に表示していた画面に戻るときは、このボタンをクリックします。参照先にジャンプした後、元のページに戻るときなどに使います。

「前のページ」に戻るときは、このボタンをクリックします。

「索引」を見るときは、このボタンをクリックします。

「目次」を見るときは、このボタンをクリックします。

「次のページ」に進むときは、このボタンをクリックします。

「次のページ」に進むときは、このボタンをクリックします。参照先のページと元のページとを交互に見たいときなどに使います。

原稿をスキャンして、そのままプリントします。

[保存]
原稿をスキャンして、画像ファイルとしてディスクに保存します。

[スキャン]
原稿をスキャンして、リレーション機能を使用します。詳しくは、次ページをご覧ください。

後に表示していた画面に進むときは、このボタンをクリックします。参照先のページと元のページとを交互に見たいときなどに使います。

した後、リンクされたソフトを起動して、ソフトに画像ファイルを渡します。詳しくは、次ページをご覧ください。

10 目次 索引 前画面 次画面 前ページ 次ページ

目次 (1 / 2)

このガイドのボタンの使い方	3	スキャン画像の渡し先	18
第 1 章 Toolbox 基礎の基礎		[スキャン] ボタン	18
Toolboxってなに?	6	コピーの設定画面	19
インストールの方法	7	スキャナの設定 - 読み取り解像度	19
Toolbox の動作環境について	7	スキャナの設定 - 明るさ	20
Toolbox のインストール	7	スキャナの設定 - 拡大 / 縮小	20
起動と終了の方法	8	プリンタの設定	21
Toolbox の起動	8	メールの設定画面	22
Toolbox の終了	9	スキャナの設定 - 添付ファイルサイズの上限	22
Toolbox のボタンの機能	10	スキャナの設定 - 読み取り解像度	23
		スキャン画像の渡し先	23
		OCR の設定画面	24
		スキャナの設定 - 画像タイプ	24
		スキャナの設定 - 読み取り解像度	24
		保存の設定画面	25
		スキャナの設定 - 読み取り解像度	25
		スキャン -1 ~ 2 の設定画面	26
		スキャナの設定 - 読み取り解像度	26
		フォトの設定画面	27
		スキャナの設定 - 原稿タイプ	27
		スキャナの設定 - 読み取り解像度	28
		スキャナの設定 - 原稿サイズ	28
第 2 章 Toolbox の使い方			
ボタンをクリックして操作をはじめ	12		
各設定画面の共通の設定項目	13		
スキャナの設定 - 画像タイプ	14		
スキャナの設定 - 読み取り解像度	15		
スキャナの設定 - 原稿サイズ	15		
スキャナの設定 - スキャナドライバで詳細な設定を行う	16		
スキャン画像の保存先 - ファイル名	17		
スキャン画像の保存先 - ファイルの種類	17		
スキャン画像の保存先 - 保存先	17		
スキャン画像の保存先 - 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる	18		

目次 (2 / 2)

第3章 スキャナのボタンの使い方

スキャナのボタンを使う	29
スキャナのボタンの役割を確認する	29
スキャナのボタンを押すと	30
どんな設定でスキャンされる？	31
ボタンを押したあと設定を変更する	31
スキャナのボタンの役割を変更する	32

第4章 もっと便利な活用法

スキャナを選択する	34
他のアプリケーションソフトをリンクする	35

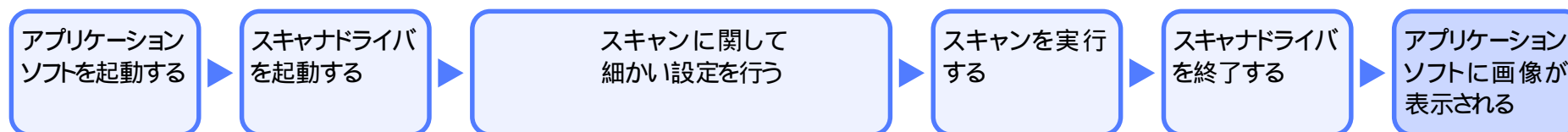
付録

ファイル形式について	37
Toolboxをアンインストールする	38
初期設定一覧	39
索引	40

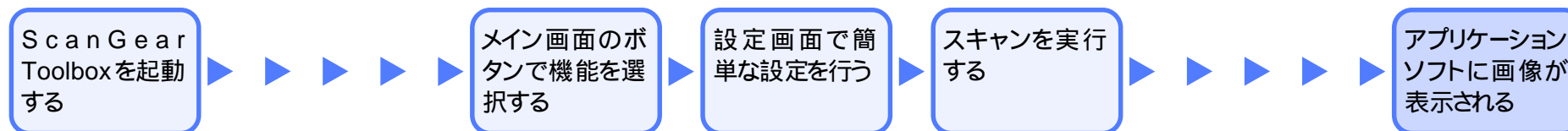
Toolboxってなに?

ScanGear Toolbox 3.1 (スキャンギア ツールボックス 3.1) は、スキャナをより便利に活用するためのソフトウェアです。

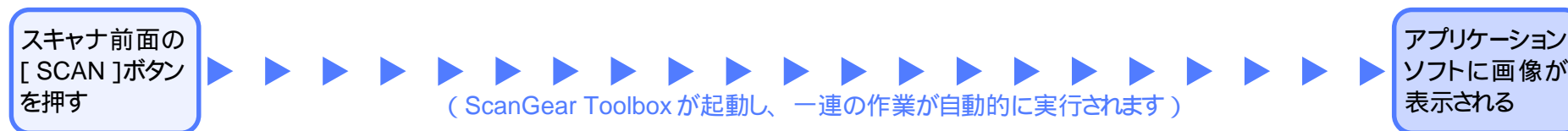
たとえば、「画像処理アプリケーションソフトで、雑誌の1ページをスキャンして表示させたい」 - というようなとき、普通なら次のような手順が必要です。



同じ作業を ScanGear Toolbox を利用して行う場合、次のような手順になります。



かなり手順が少なくなったことがわかりますね。
さらに、スキャナに付いているボタンを利用すれば、こうなります。



いかがですか？スキャナをより気軽に、手早く活用するためのソフトウェア、それが ScanGear Toolbox なのです。

参考
・なお、本書では、ここ以降「ScanGear Toolbox」のことを略して「Toolbox」と表記します。

ここでは、Toolbox のインストールについて説明します。

Toolbox の動作環境について

Toolbox の動作環境は以下の通りです。

対応 OS :	Windows 98 Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition Windows XP Professional Windows XP Home Edition
ハードディスク空容量 :	約 10MB (インストール時)
ディスプレイ :	800 × 600 ドット 中 (16 ビット) または High Color (16 ビット) 以上

Toolbox のインストール

Toolbox のインストールには、スキャナに付属の「キヤノスキャンセットアップ CD-ROM」を使います。
インストールの手順については、別冊のマニュアル「スタートガイド」(または「はじめにお読みください」)をご覧ください。

重要

- Windows 2000 Professionalでのインストール作業は、かならず Administrator の権限でログオンしてから行ってください。
- Windows XP Professional、Windows XP Home Editionでのインストール作業は、かならず「コンピュータの管理者」として設定したユーザ名でログオンしてから行ってください。

参考

- インストールした Toolbox をアンインストールする (削除する) 方法については、→ 「付録」の「Toolbox をアンインストールする」をご覧ください。

起動と終了の方法 (1/2)

Toolbox の起動と終了の手順を説明します。

重要

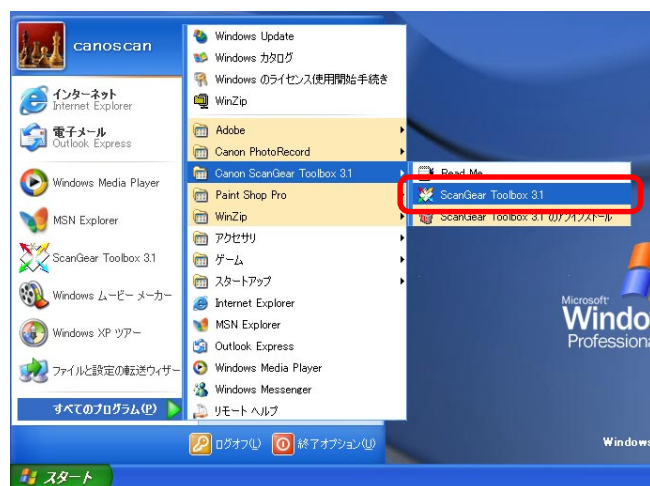
- ・ Toolbox を起動するときは、スキャナドライバ ScanGear CS-Uがインストールされ、スキャナが正しく接続されていることを確認してください。

Toolbox の起動

Toolbox の起動は、次の操作で行います。

[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム [または] プログラム] の [Canon ScanGear Toolbox 3.1] から [ScanGear Toolbox 3.1] を選択します。

(下の画面は Windows XP Professional の例)



これで、Toolbox が起動し、次のような画面 (Toolbox のメイン画面) が表示されます。



参考

- ・ スキャナ前面や原稿台カバー上部にあるボタンを使って Toolbox を利用する方法については、→「第3章 スキャナのボタンの使い方」で説明しています。

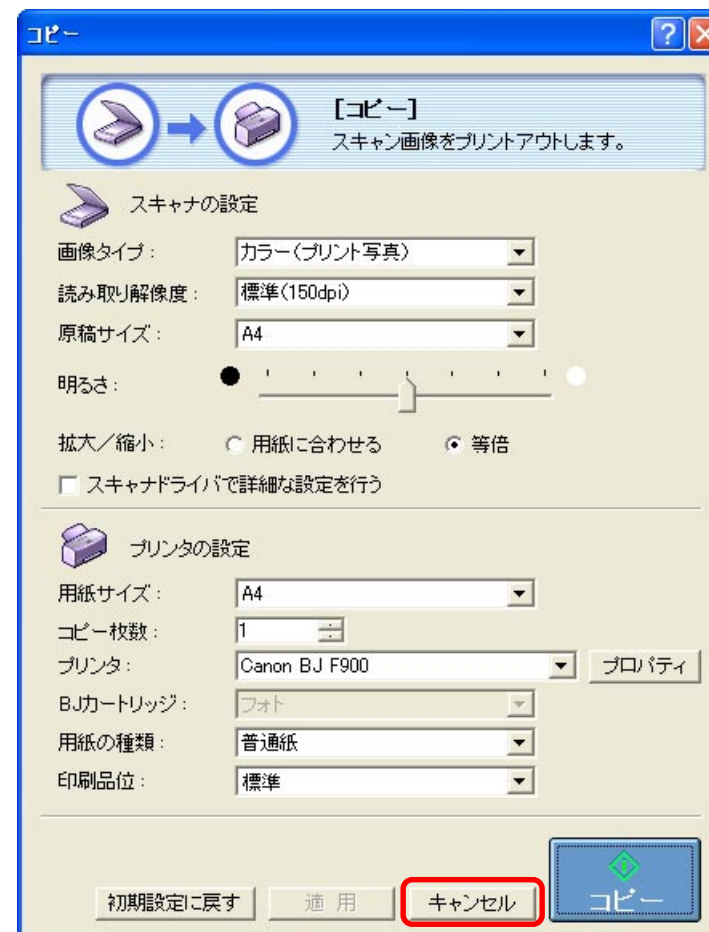
起動と終了の方法 (2/2)

Toolbox の終了

Toolbox を終了するときは、メイン画面で、クローズボックスをクリックします。



メイン画面以外の画面が表示されているときは、その画面の [キャンセル] (またはその画面のクローズボックス) をクリックして、メイン画面を表示させてからクローズボックスをクリックしてください。



Toolbox のボタンの機能 (1 / 2)

Toolbox のメイン画面には、次のようなボタンが用意されています。

ここでは、各ボタンの機能を紹介します。

実際の各機能の設定方法については、→「第2章 Toolbox の使い方」で詳しく説明しています。

[メール]

原稿をスキャンした後、メールソフトを起動し、その画像ファイルを添付した新規メールを作成します。画像ファイルは、添付に適したファイルサイズに圧縮することができます。

[OCR]

原稿をスキャンした後、OCRソフト（画像データを文字データに変換するソフト）を起動し、その画像ファイルを開きます。キヤノスキャンセットアップ CD-ROMからインストールした場合、e.Typistエントリーがリンク（登録）されています。

ウインドウを最小化します

ここをクリックした後、知りたい箇所にマウスポインタを合わせてクリックすると、ヘルプ画面が表示されます

[コピー]

原稿をスキャンして、そのままプリンタで印刷します。

Toolboxを終了します

[設定]

スキャナ前面のボタンに割り当てる機能を設定するときに使います。また、複数台のスキャナを接続している場合には、スキャナの選択を行います。



[保存]

原稿をスキャンして、画像ファイルとしてディスクに保存します。

[スキャン -1 ~ 2]

原稿をスキャンした後、リンクされているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。詳しくは、次ページをご覧ください。

[フォト]

原稿をスキャンした後、リンクされているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。詳しくは、次ページをご覧ください。

■ [スキャン-1] [スキャン-2] について

「スタートガイド」の「ソフトウェアのインストール」の手順にしたがってすべてのアプリケーションソフトをインストールした場合、[スキャン-1]のボタンにはPhotoBaseが、[スキャン-2]のボタンには、Photoshop Elements がリンク（登録）されます。ボタンには、そのアプリケーションソフトのアイコンが表示されています。

これらのボタンをクリックすると、原稿をスキャンした後、リンクされているアプリケーションソフトを起動して、そのアプリケーションソフトに画像ファイルを渡します。

参考

- ・スキャン-1 ~ 2のボタンには、他のアプリケーションソフトをリンクすることができます。この方法については、→「第4章 もっと便利な活用法」の「他のアプリケーションソフトをリンクする」で説明しています。

■ [フォト] について

「スタートガイド」の「ソフトウェアのインストール」の手順にしたがってアプリケーションソフトをインストールした場合、[フォト]のボタンにはPhotoRecordがリンク（登録）されています。

このボタンをクリックすると、原稿をスキャンした後、PhotoRecord を起動して画像ファイルを渡します。

なお、D1250U2Fをお使いの場合、この[フォト]がフィルムのスキャンを直接実行できる唯一のボタンとなります。（この他のボタンの場合、フィルムをスキャンするときには、「スキャナドライバで詳細な設定を行う」にチェックマークを付け、ScanGear CS-Uの画面を表示させる必要があります）

参考

- ・フォトのボタンには、他のアプリケーションソフトをリンクすることができます。この方法については、→「第4章 もっと便利な活用法」の「他のアプリケーションソフトをリンクする」で説明しています。

ボタンをクリックして操作をはじめる

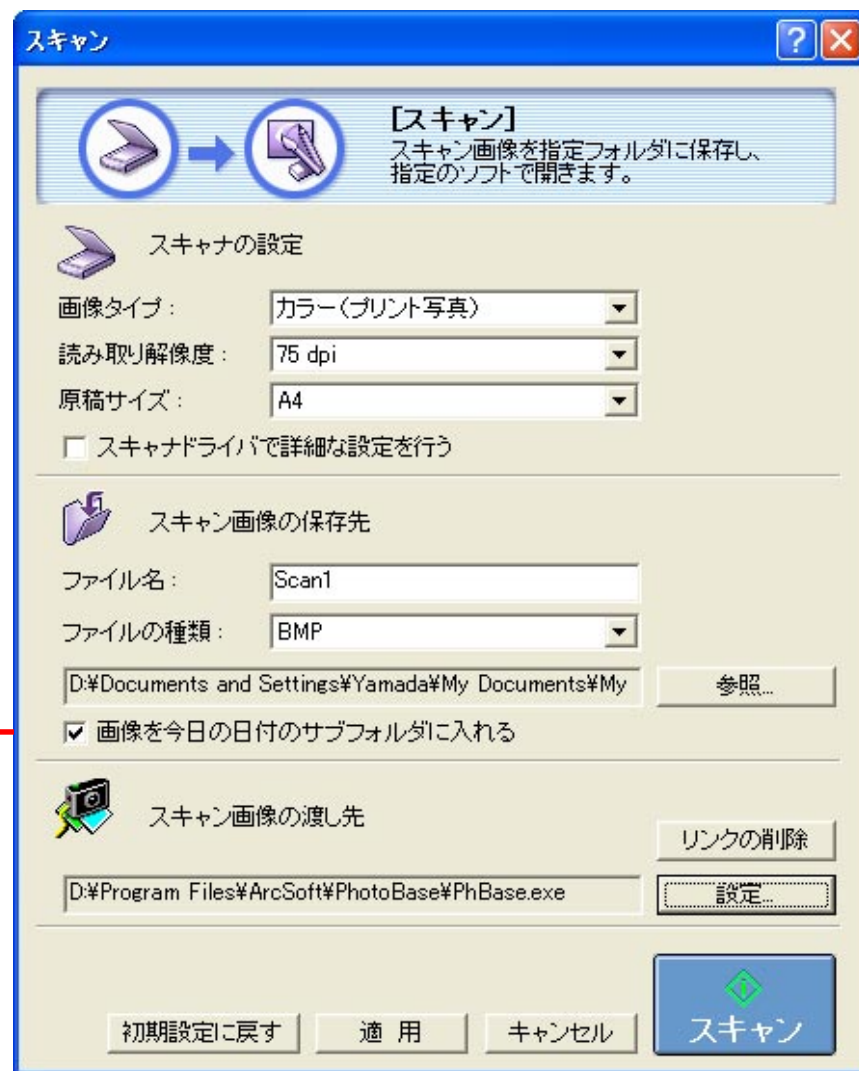
Toolboxの操作をはじめるときは、メイン画面で目的の機能のボタンをクリックします。ボタンをクリックすると、それぞれの機能に関する設定画面が表示されます。



例えば、[スキャン-1]のボタンをクリックすると、右のような画面が表示されます。



次のページからは、[スキャン-1]の設定画面を例にして、各設定画面の共通の設定項目を説明していきます。それぞれの設定画面の固有の設定項目については、その次に説明します。



各設定画面の共通の設定項目（1 / 6）

ここでは、Toolboxの各設定画面で共通の設定項目について説明します。（ここで例として使用する画面は「スキャン1」の設定画面ですが、他の設定画面にも同じ設定項目があります）

共通の各設定項目の詳細については、次ページから説明しています。

→ 画像タイプ

原稿をスキャンする方法を選択します。

→ 読み取り解像度

スキャンの細かさ（解像度）を選択します。

→ 原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを選択します。

→ スキャナドライバで詳細な設定を行う

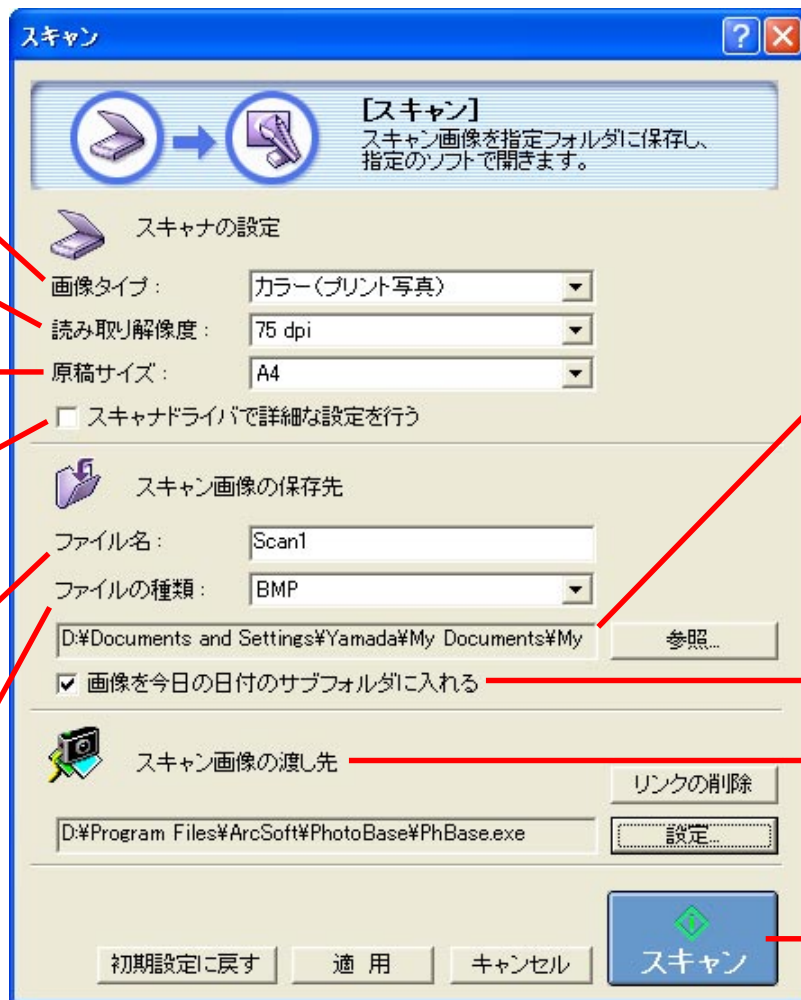
ScanGear CS-Uの画面を使ってスキャンするかどうかを選択します。

→ ファイル名

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

→ ファイルの種類

保存する画像ファイルのファイル形式を選択します。



→ 保存先

画像の保存先を設定します。

→ 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる
保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダを作成するかどうかを選択します。

→ スキャン画像の渡し先

使用するアプリケーションソフトを選択します。

→ [スキャン] ボタン他

[スキャン] (コピーの場合は [コピー]) ボタンをクリックするとスキャンがはじまります。

スキャナの設定 - 画像タイプ

スキャンの方法を選択します。

白黒： 白と黒の2色で表現される画像になるように原稿をスキャンします。

白黒 (OCR)： 白黒2値の画像をより鮮明にスキャンします。

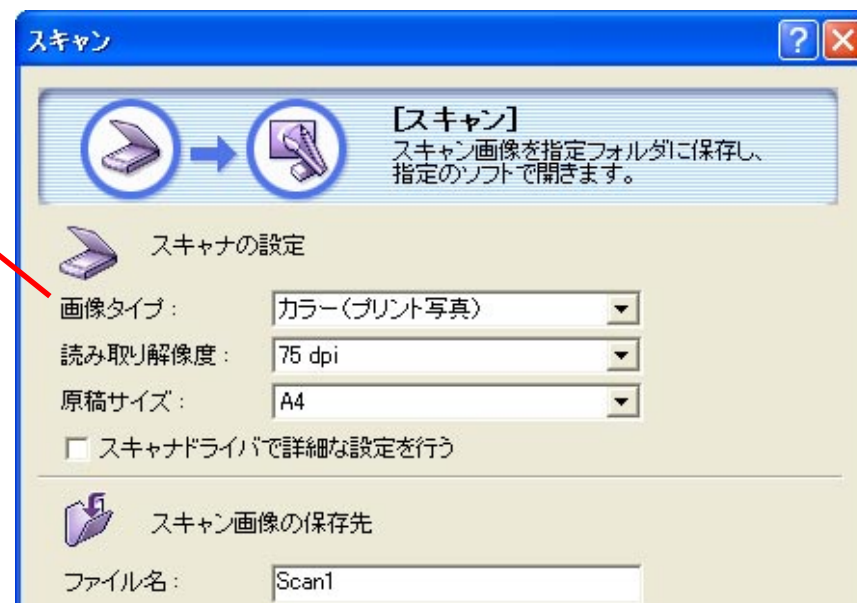
グレースケール： 白～灰色～黒の無彩色で表現される画像(モノクロ写真のような画像)になるように原稿をスキャンします。

カラー (雑誌、カタログ)： モアレ低減機能(次ページの「参考」を参照)をオンにして、カラーで原稿をスキャンします。

カラー (プリント写真)： モアレ低減機能(次ページの「参考」を参照)をオフにして、カラーで原稿をスキャンします。

カラー (マルチ写真スキャン)： 読み取り解像度を300dpiにしてカラーで写真をスキャンします。原稿台に複数の写真が置かれているときは、それぞれの写真のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。

カラー (オートクロップ)： 原稿サイズを自動的に調整し、読み取り解像度を300dpiにしてカラーで原稿をスキャンします。(原稿台に複数枚の写真が並べて置かれている場合、全体で1枚の画像となります)



参考

- ・「白黒 (OCR)」が選択できるのは、「OCR」の設定画面のみです。
- ・「OCR」の設定画面では、選択できる項目に制限があります。この設定項目については、→ この章の「OCRの設定画面」をご覧ください。
- ・「フォト」の設定画面では、「画像タイプ」のかわりに「原稿タイプ」という項目があります。この設定項目については、→ この章の「フォトの設定画面」をご覧ください。

参考

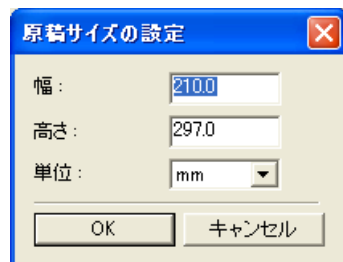
- ・印刷物をスキャンすると、縞(しま)のような模様(モアレ)が発生することがあります。「モアレ低減機能」は、このモアレをできるかぎり少なくする機能です。モアレ低減機能がオンの場合には、スキャンにかかる時間が長くなります。(モアレ低減機能は、ScanGear CS-Uの画面で設定することもできます)

スキャナの設定 - 読み取り解像度

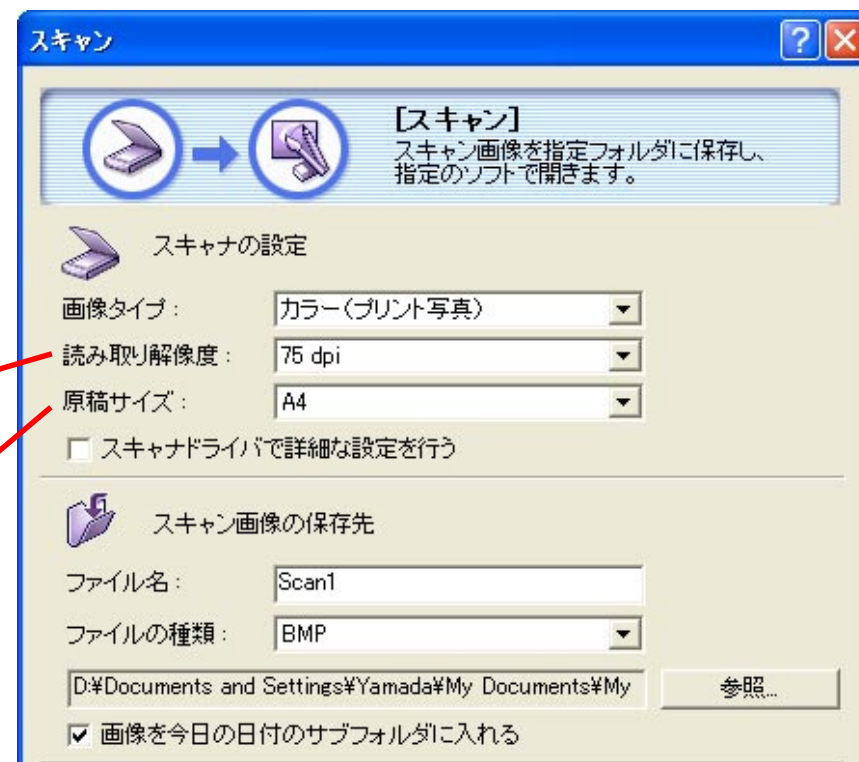
スキャンの細かさ(解像度)を選択します。詳しくは、各設定画面の説明をご覧ください。

スキャナの設定 - 原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを、次の中から選択します。A4、A5縦、A5横、B5、レター、エグゼクティブ、ステートメント縦、ステートメント横、名刺、L判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタム。



[カスタム]を選択した場合には、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。「単位」を選んでから、「幅」と「高さ」を入力し、[OK]をクリックしてください。



重要

- ・「画像タイプ」で[カラー(マルチ写真スキャン)][カラー(オートクロップ)]が選択されている場合、「原稿サイズ」の選択はできません。
- ・「フォト」の設定画面では、選択できる項目に制限があります。この設定項目については、→この章の「フォトの設定画面」をご覧ください。

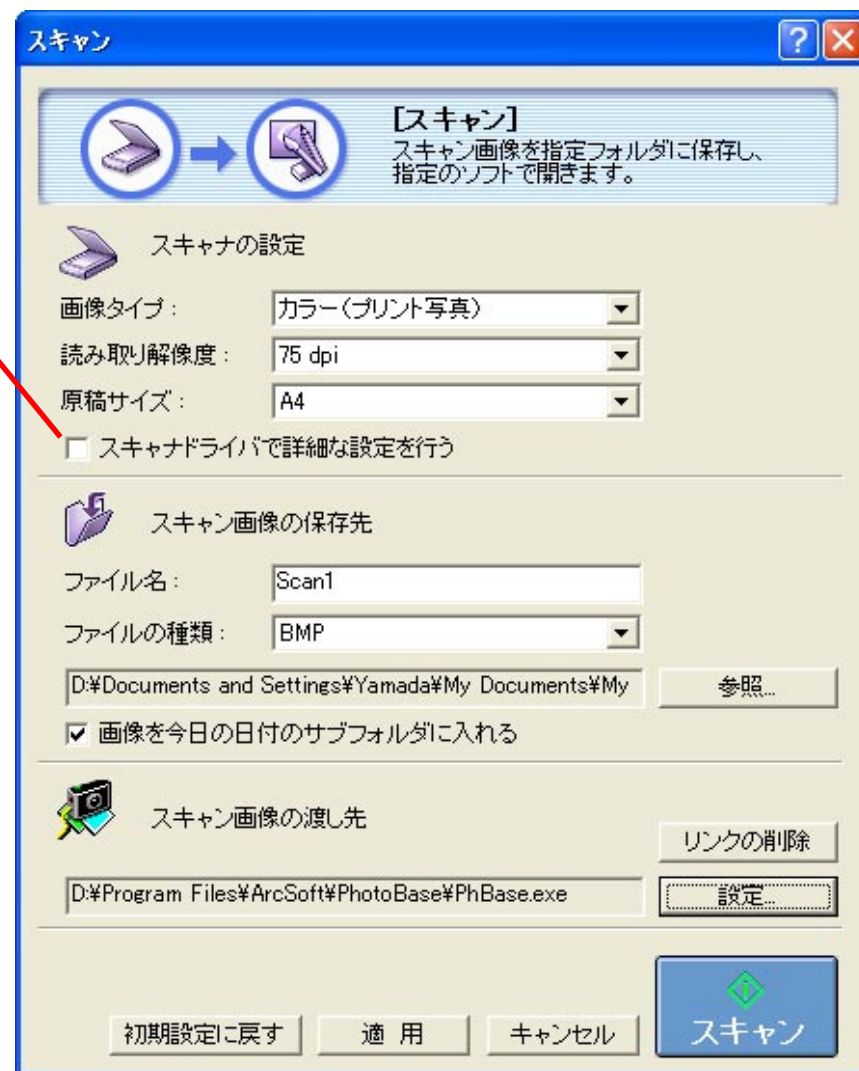
スキャナの設定 - スキャナドライバで詳細な設定を行う

この項目にチェックマークを付けて画面右下の [スキャン] (コピーの場合は [コピー]) ボタンをクリックすると、ScanGear CS-Uの画面が表示され、さまざまなスキャンの項目を細かく設定することができます。

また、D1250U2Fをお使いの場合、ScanGear CS-Uの画面の「イメージソース」で [フィルム] を選択すると、「フォト」以外の設定画面からフィルムをスキャンすることができます。

参考

- ・「OCR」の設定画面にこの設定項目はありません。
- ・この項目にチェックマークを付けた場合、「画像タイプ」「読み取り解像度」「原稿サイズ」など一部の項目の設定はできなくなります。(ScanGear CS-Uの画面で設定することになります - 詳しくはScanGear CS-Uユーザーズガイドをご覧ください)



スキャン画像の保存先 - ファイル名

スキャンした画像に付けるファイル名を入力します。

参考

- ・「コピー」の設定画面にこの項目はありません。
- ・同じ名前のファイルが存在する場合には、ファイル名の後ろに「0001」のような4桁の番号が付けられます。
- ・拡張子は自動的に付けられます。

スキャン画像の保存先 - ファイルの種類

保存する画像ファイルのファイル形式を選択します。

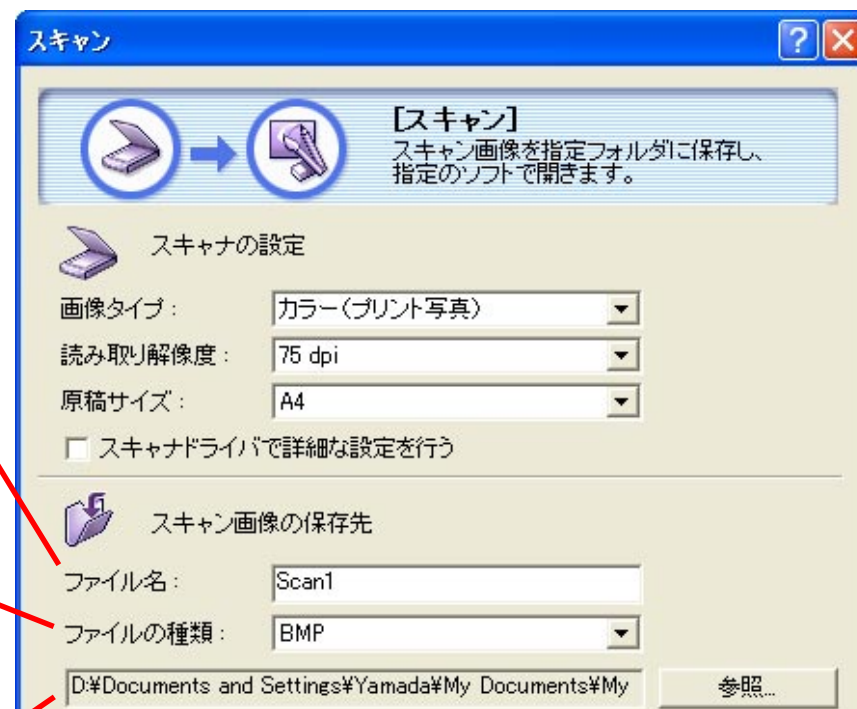
参考

- ・「コピー」「メール」の設定画面にこの項目はありません。
- ・画像ファイルのファイル形式については、→「付録」の「ファイル形式について」をご覧ください。

スキャン画像の保存先 - 保存先

スキャンされた画像は、ここに表示されているフォルダに保存されます。

保存するフォルダを変更する場合には、[参照]をクリックした後、保存先にするフォルダを選んで、[OK]をクリックします。



重要

- ・Windows XP ProfessionalまたはWindows XP Home EditionでToolboxを使用している場合、「ファイルのオープンに失敗しました」というエラーメッセージが表示され、スキャンできないことがあります。このときは、[OK]をクリックして、Toolboxの設定画面に戻り、「スキャン画像の保存先」の[参照]をクリックした後、保存先フォルダを「Windows XPにログインしたときのユーザー名と同じ名前のフォルダ」に設定してください。

各設定画面の共通の設定項目（6 / 6）

スキャン画像の保存先 - 画像を今日の日付のサブフォルダに入れる

この項目にチェックマークが付いている場合には、保存先として設定されているフォルダの中に、スキャンした日付の名前のフォルダ（たとえば「2001-10-10」など）が自動的に作成され、その中に画像が保存されます。

スキャン画像の渡し先

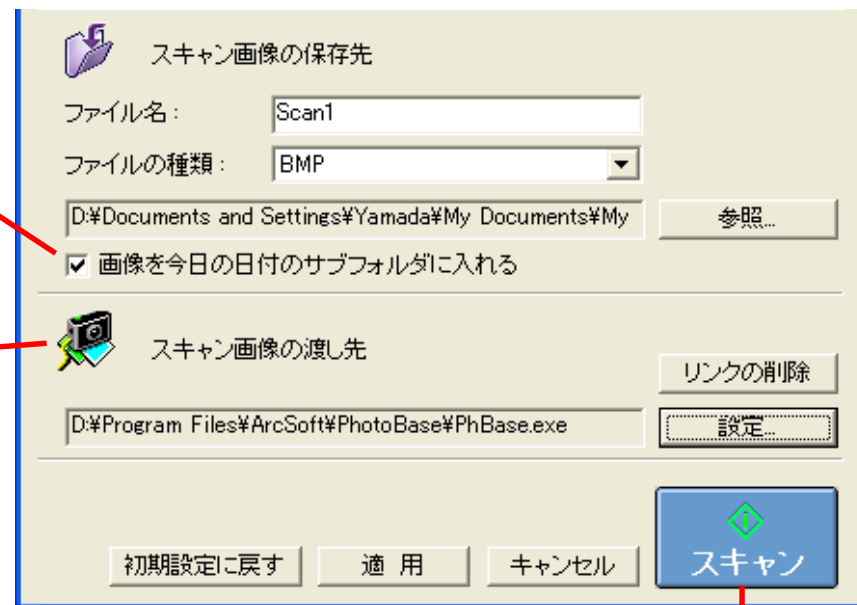
使用するアプリケーションソフトを選択します。

下の枠内には、リンクされているアプリケーションソフトの名前が表示されます。

他のアプリケーションソフトにリンクしたい場合には、[設定]をクリックした後、目的のアプリケーションソフトを選んで[OK]をクリックします。この操作に関しては → 「第4章 もっと便利な活用法」の「他のアプリケーションソフトをリンクする」で詳しく説明しています。

参考

・「メール」の設定画面のこの項目については、 → この章の「メールの設定画面」をご覧ください。



[スキャン] ボタン

[スキャン] ボタン（コピーの場合は [コピー] ボタン）をクリックするとスキャンがはじまります。スキャンが完了すると自動的に選択した処理が実行されます。

参考

- ・[初期設定に戻す]をクリックすると、画面の各項目が初期設定（インストール直後の設定）に戻ります。
- ・[適用]をクリックすると、設定した内容が保存されます。
- ・[キャンセル]をクリックすると、Toolboxのメイン画面に戻ります。

コピーの設定画面 (1/3)

ここでは、「コピー」の画面の設定項目について説明します。

参考

- ・ここで説明していない設定項目に関しては、→ この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

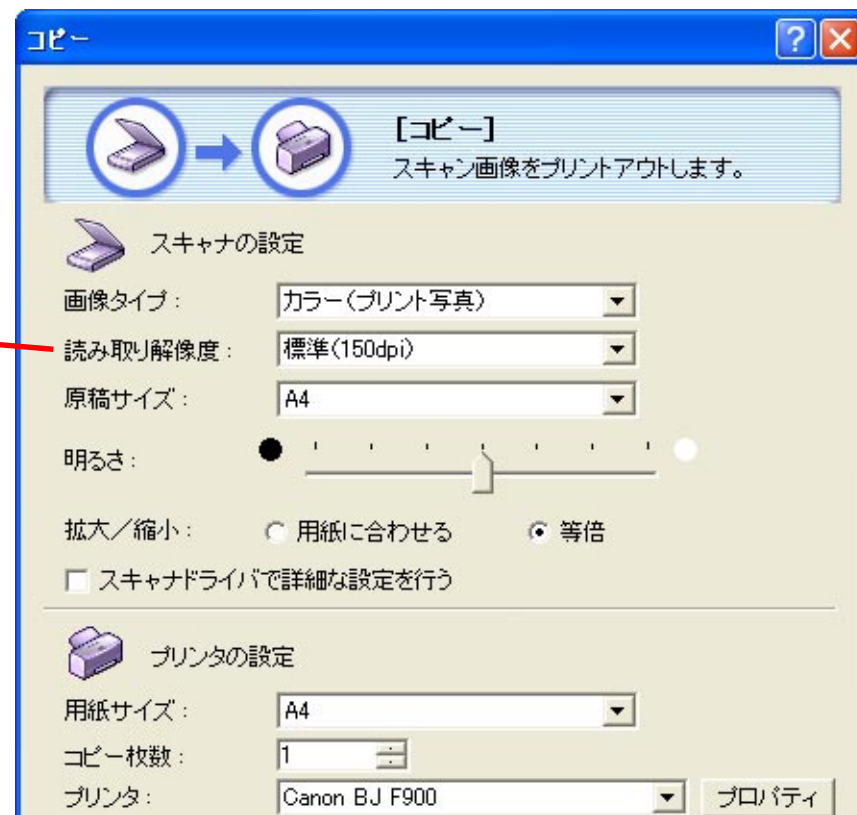
スキャンの細かさ（解像度）を選択します。

ドラフト： 白黒、グレースケールの場合は150dpiでスキャンします。カラーの場合は75dpiでスキャンします。

標準： 白黒、グレースケールの場合は300dpiでスキャンします。カラーの場合は150dpiでスキャンします。

高画質： 白黒、グレースケールの場合は600dpiでスキャンします。カラーの場合は300dpiでスキャンします。

拡大印刷： カラーの場合は600dpiでスキャンします。（白黒、グレースケールの場合には選択できません）



重要

- ・「拡大／縮小」の項目で[用紙に合わせる]が選択された場合には、状況に応じて自動的に解像度が変更されます。
- ・「画像タイプ」で[カラー(マルチ写真スキャン)]または[カラー(オートクロップ)]が選択されている場合、「読み取り解像度」の選択はできません。

コピーの設定画面 (2/3)

スキャナの設定 - 明るさ

ツマミを左右に動かしてスキャンの明るさを設定します。左に動かすほど暗い画像に、右に動かすほど明るい画像になります。

参考

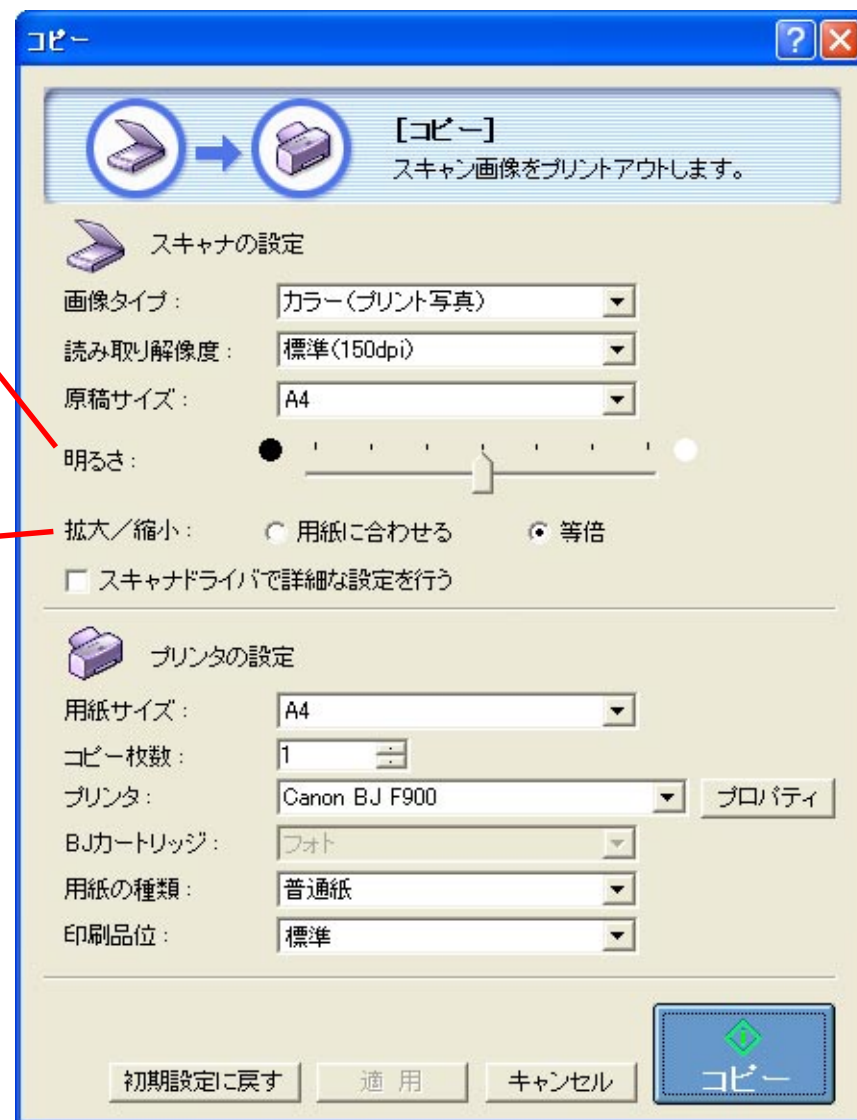
- ・「画像タイプ」で[白黒]が選択されている場合には、この項目で「白と黒の境界となる明るさ」を設定することになります。

スキャナの設定 - 拡大/縮小

印刷する用紙(「用紙サイズ」で設定)に収まるように、画像の大きさを調整する機能を選択します。

用紙に合わせる： スキャンした画像全体が、印刷する用紙に収まるように自動的に画像の大きさを調整します。ただし、画像の縦横の比率は変更しませんので、原稿と印刷用紙のサイズの組み合わせによっては、上下または左右に余白ができることになります。

等倍： 原稿と同じ大きさを印刷されるようにスキャンします。



プリンタの設定

印刷に使用するプリンタの設定を行います。

■ 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを選択します。

■ コピー枚数

印刷する枚数を設定します。最大 99 枚まで設定できます。

■ プリンタ

使用するプリンタを選択します。[プロパティ]をクリックすると、プリンタに関する細かい設定を行う画面が表示されます。

■ BJカートリッジ

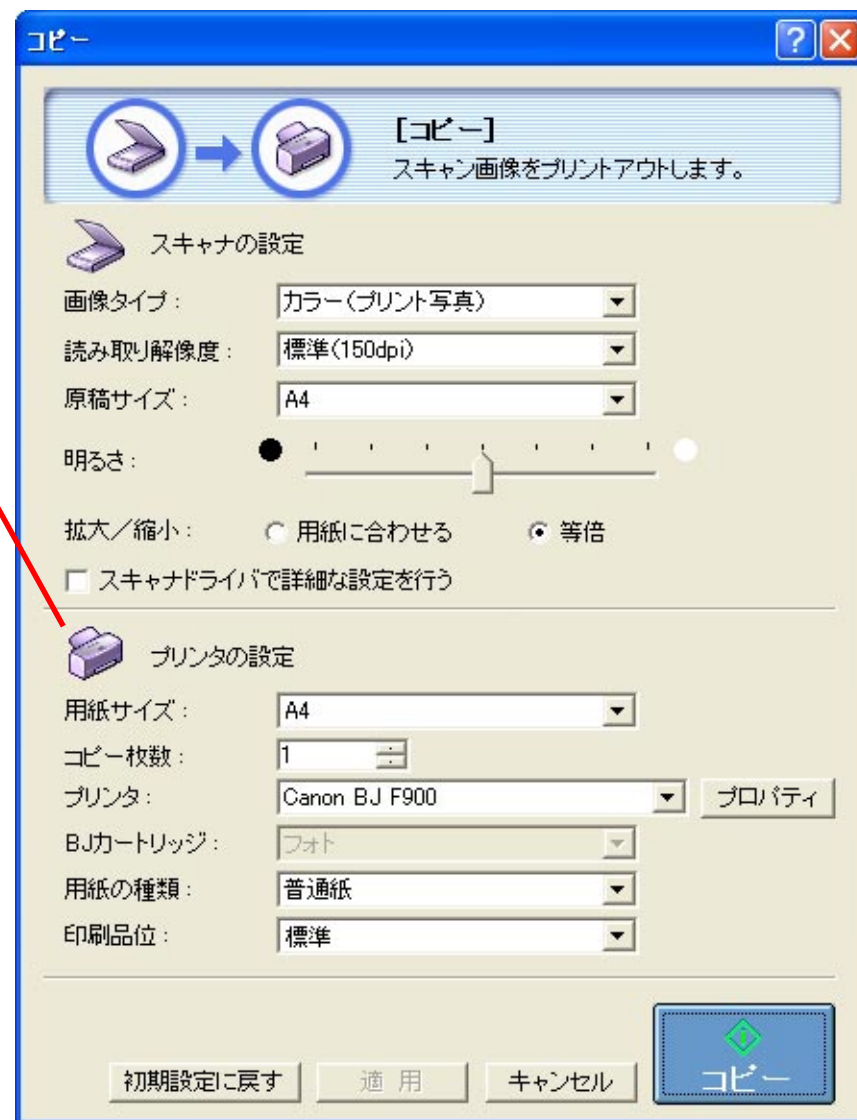
使用するプリンタのカートリッジを選択します。(お使いのプリンタによっては、この項目は表示されません)

■ 用紙の種類

使用する用紙の種類を選択します。(お使いのプリンタによっては、この項目は表示されません)

■ 印刷品位

印刷の品質を選択します。(お使いのプリンタによっては、この項目は表示されません)



ここでは、「メール」の画面の設定項目について説明します。

参考

- ・ここで説明していない設定項目に関しては、→ この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。

スキャナの設定 - 添付ファイルサイズの上限

ファイルサイズ（画像ファイルの大きさ）が大きい画像をメールでやりとりする場合、メールの送受信に時間がかかったり、メールサーバ、ネットワークに負担がかかることがあります。ファイルサイズを小さくするには、読み取り解像度を低く（数字を小さく）設定する必要があります。

「添付ファイルサイズの上限」でファイルサイズを指定すると、送信する画像のファイルサイズが上限を超えないように読み取り解像度の選択肢が変わります。解像度を低くするほどファイルサイズも小さくなりますが、画像そのものの大きさも小さくなる場合があります。

まずファイルサイズを150、300、600、900Kバイトの中から選択し、そのあと読み取り解像度を選択します。

一般的なメールで利用する場合には、[150Kバイト]にしておくことをおすすめします。



重要

- ・「添付ファイルサイズの上限」の設定値は、目安として考えてください。画像によってはスキャンしたあとのファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。

参考

- ・グレースケールおよびカラー画像はJPEG形式の画像ファイルとして、白黒画像はPNG形式の画像ファイルとして保存されます。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

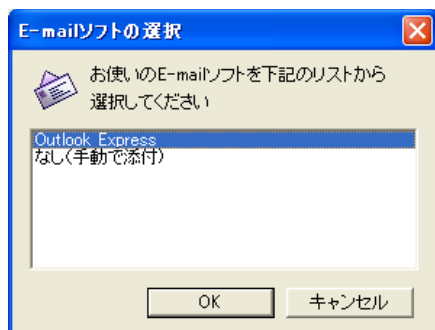
スキャンの細かさ（解像度）を選択します。
選択肢は、「添付ファイルサイズの上限」の設定に応じて、変化します。

重要

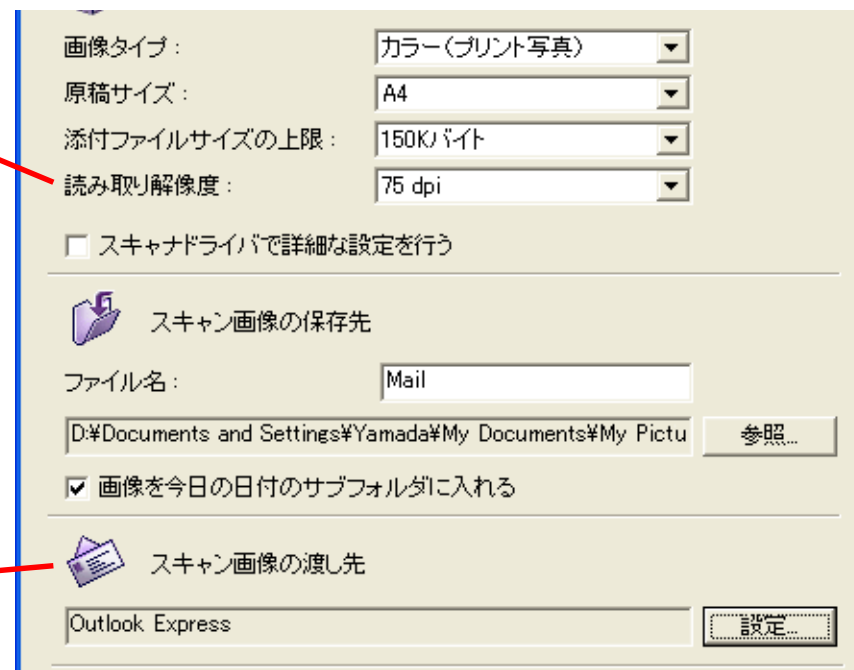
・「画像タイプ」で[カラー(マルチ写真スキャン)]または[カラー(オートクロップ)]が選択されている場合、「読み取り解像度」の選択はできません。読み取り解像度は「添付ファイルの上限」の設定に合わせて自動的に調整されます。

スキャン画像の渡し先

メールの送信に使うメールソフトを選択します。
下の枠内には、使用するメールソフト名が表示されます。
枠内にメールソフト名が表示されていない場合、あるいは他のメールソフトを使いたい場合は[設定]をクリックします。



表示された画面で使いたいメールソフトを選択し、[OK]をクリックします。



使いたいメールソフトがリストに表示されない場合は、「なし(手動で添付)」を選択します。この場合には、手動で送信メールに画像ファイルを添付する操作を行ってください。

重要

・Toolboxにリンクするメールソフトは、MAPI対応でなければなりません。Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messengerをリンクできます。また、メールソフトによっては、メールソフト側で、「MAPI」を有効に設定する必要があります。

ここでは、「OCR」の画面の設定項目について説明します。

参考

- ここで説明していない設定項目に関しては、→ この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。

スキャナの設定 - 画像タイプ

スキャンの方法を選択します。
[白黒][白黒(OCR)][グレースケール]から選択します。
ただし、OCRソフトによっては、グレースケールの画像を受け取れない場合があります。この場合には、[白黒]または[白黒(OCR)]を選択してください。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

スキャンの細かさ(解像度)を300dpi、400dpi、600dpiの中から選択します。



ここでは、「保存」の画面の設定項目について説明します。

参考

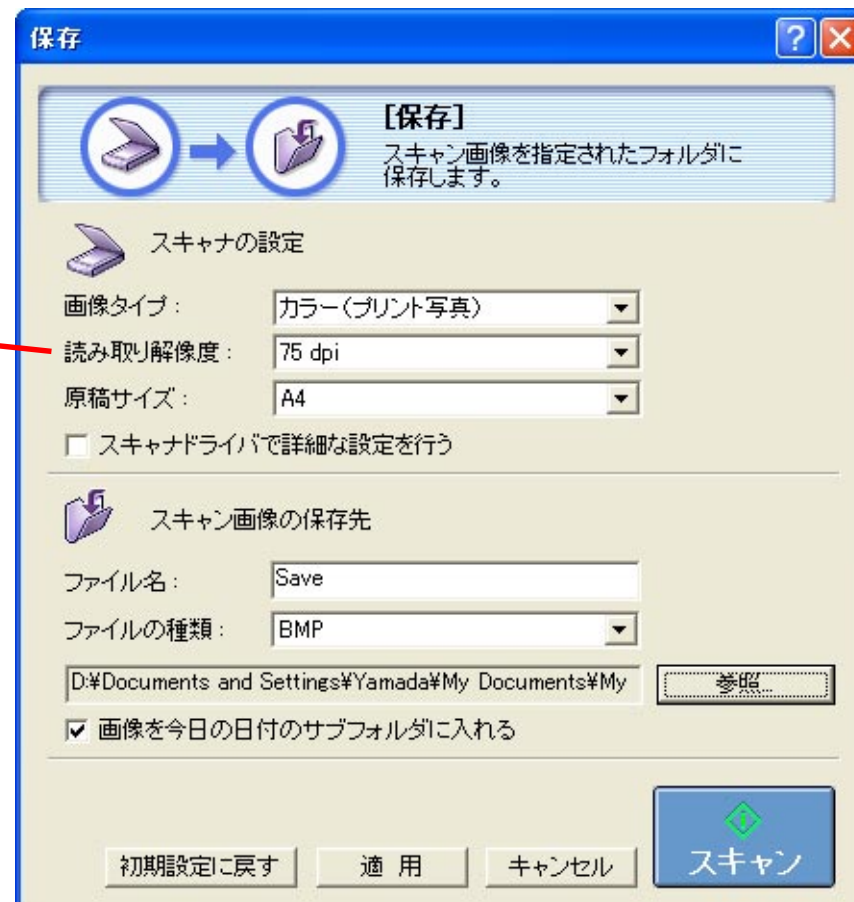
- ここで説明していない設定項目に関しては、→ この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

スキャンの細かさ(解像度)を75 ~ 1200dpiの中から選択します。

重要

- 「画像タイプ」で[カラー(マルチ写真スキャン)]または[カラー(オートクロップ)]が選択されている場合、「読み取り解像度」の選択はできません。



スキャン-1 ~ 2の設定画面

ここでは、「スキャン-1」「スキャン-2」の画面の設定項目について説明します。

「スタートガイド」の「ソフトウェアのインストール」の手順にしたがってすべてのアプリケーションソフトをインストールした場合には、あらかじめ「スキャン-1」にはPhotoBaseが、「スキャン-2」にはPhotoshop Elementsがリンク（登録）されています。

参考

- ・ここで説明していない設定項目に関しては、→この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。
- ・スキャン-1 ~ 2のボタンに、他のアプリケーションソフトをリンクしたい場合は、→「第4章 もっと便利な活用法」の「他のアプリケーションソフトをリンクする」をご覧ください。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

スキャンの細かさ（解像度）を75 ~ 1200dpiの中から選択します。

重要

- ・「画像タイプ」で[カラー（マルチ写真スキャン）]または[カラー（オートクロップ）]が選択されている場合、「読み取り解像度」の選択はできません。



フォトの設定画面 (1 / 2)

ここでは、「フォト」の画面の設定項目について説明します。

「スタートガイド」の「ソフトウェアのインストール」の手順にしたがってアプリケーションソフトをインストールした場合、「フォト」にPhotoRecordがリンク(登録)されています。

重要

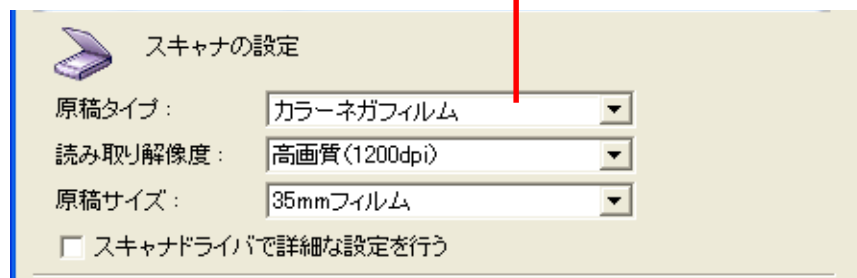
- ・D1250U2 でフィルムのスキャンは実行できません。

参考

- ・ここで説明していない設定項目に関しては、→ この章の「各設定画面の共通の設定項目」をご覧ください。
- ・フォトのボタンに、他のアプリケーションソフトをリンクしたい場合は、→ 「第4章 もっと便利な活用法」の「他のアプリケーションソフトをリンクする」をご覧ください。

スキャナの設定 - 原稿タイプ

スキャンする原稿を選択します。



■ 写真をスキャンする場合

カラーマルチ写真：読み取り解像度を300dpiにしてカラー写真をスキャンします。原稿台に複数の写真が置かれているときは、それぞれの写真のサイズを自動的に読み取り、複数の画像ファイルを作成します。

カラー(オートクロップ)：原稿サイズを自動的に調整し、読み取り解像度を300dpiにしてカラーで原稿をスキャンします。(原稿台に複数枚の写真が並べて置かれている場合、全体で1枚の画像となります)

カラー写真：カラー写真をスキャンします。

モノクロ写真：モノクロ写真をスキャンします。

■ フィルムをスキャンする場合 (D1250U2Fのみ)

カラーネガフィルム：カラーのネガフィルムをスキャンします。

カラーポジフィルム：カラーのポジフィルム(スライドフィルム)をスキャンします。

モノクロネガフィルム：モノクロのネガフィルムをスキャンします。

モノクロポジフィルム：モノクロのポジフィルム(スライドフィルム)をスキャンします。

参考

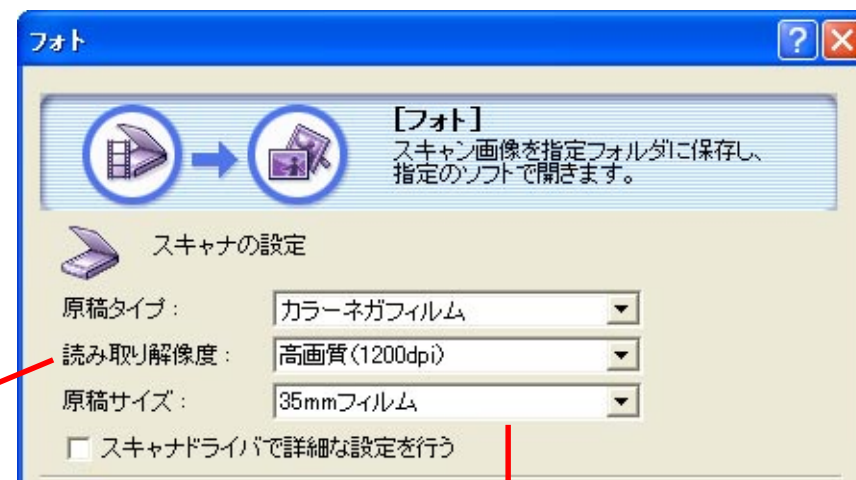
- ・「モノクロ写真」「モノクロネガフィルム」「モノクロポジフィルム」を選択した場合、画像はグレースケールの画像となります。
- ・「カラー写真」「モノクロ写真」を選択した場合、モアレ低減機能はオフとなります。
- ・原稿台へのフィルムのセットの方法については、「スタートガイド」をご覧ください。

スキャナの設定 - 読み取り解像度

スキャンの細かさ(解像度)を、75 ~ 600dpi(フィルムの場合は300 ~ 2400dpi)の中から選択します。

重要

- ・「原稿タイプ」で[カラーマルチ写真]や[カラー(オートクロップ)]が選択されている場合、「読み取り解像度」の選択はできません。

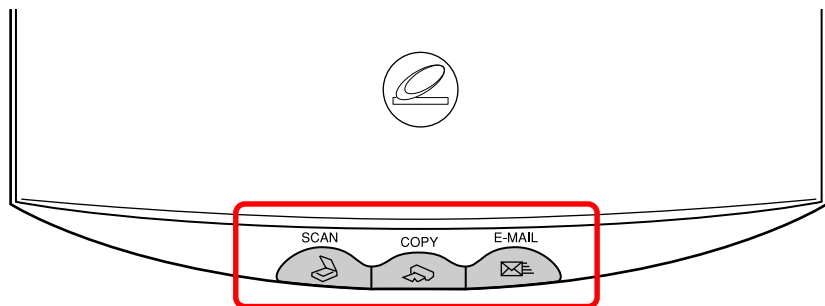


スキャナの設定 - 原稿サイズ

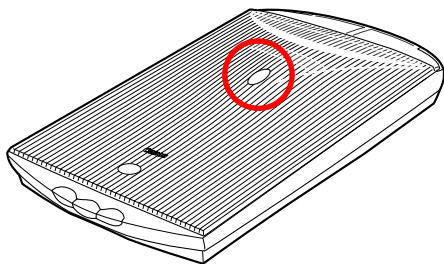
スキャンする原稿のサイズを選択します。
「原稿タイプ」で、[カラーマルチ写真]が選択されている場合、「原稿サイズ」の選択はできません。[カラー写真][モノクロ写真]が選択されている場合、「原稿サイズ」はL判縦、L判横、LL判縦、LL判横、はがき縦、はがき横、カスタムから選択します。
また、「原稿タイプ」で、フィルムが選択されている場合は、「原稿サイズ」の選択はできません。([35mmフィルム]が選択されます)

スキャナのボタンを使う (1 / 3)

スキャナ前面には、次のように3つのボタンがあります。



また、D1250U2F の場合には、スキャナの原稿台カバーの中央にもボタンがあります。



これらのいずれかのボタンを押すと、Toolbox が起動し、そのボタンに割り当てられているスキャン機能の設定画面が表示され、すぐにスキャンが実行されます。

「ボタンを押す」だけで、スキャンの一連の作業を、手軽に素早く実行できるのです。

スキャナのボタンの役割を確認する

Toolbox のメイン画面の、ボタンの上に注目してください。



この部分には、「スキャナの各ボタンが、Toolbox のどの機能に割り当てられているか」が示されています。この例の場合、スキャナの各ボタンは、それぞれ次のように機能が割り当てられていることがわかります。

-  (SCAN) ボタン ▶ [スキャン-1] の機能
-  (COPY) ボタン ▶ [コピー] (印刷) の機能
-  (E-MAIL) ボタン ▶ [メール] の機能
-  (PHOTO) ボタン ▶ [フォト] の機能

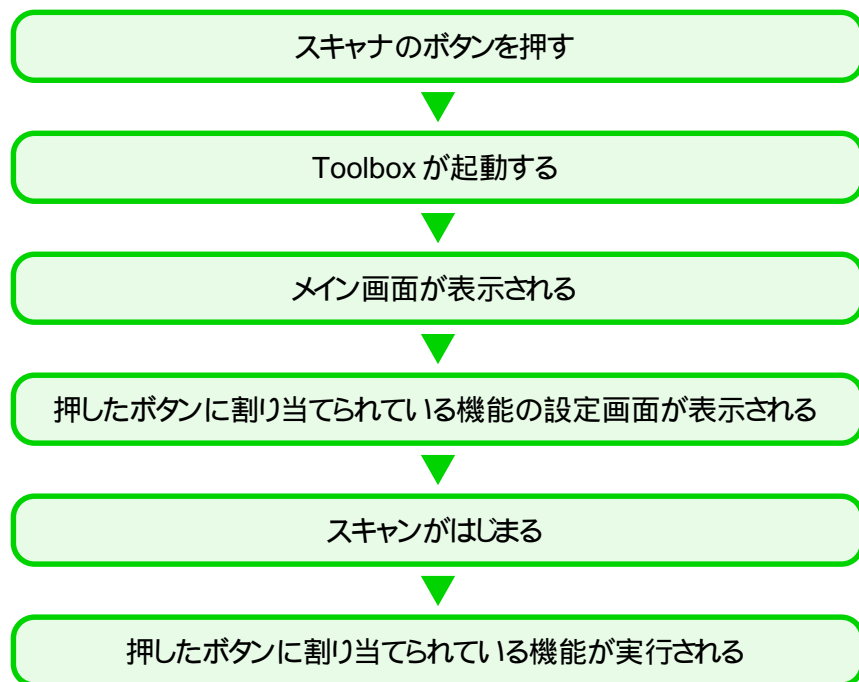
参考

・D1250U2 には、PHOTO ボタンはありません。

スキャナのボタンを使う (2 / 3)

スキャナのボタンを押すと

スキャナのいずれかのボタンを押すと、Toolbox が起動していても、次のような一連の作業が自動的に実行されます。



参考

- ・すでに Toolbox が起動している場合には、押したボタンに割り当てられている機能の設定画面が表示され、スキャンがはじまります。

たとえば、「スタートガイド」の「ソフトウェアのインストール」の手順にしたがってすべてのアプリケーションソフトをインストールした直後の状態で、原稿台に原稿をセットして、スキャナの各ボタンを押すと、次のような作業が実行されます。

(SCAN) ボタンを押したとき

Toolbox が起動し、メイン画面、「スキャン-1」の設定画面が表示されます。続いてスキャンが実行された後、リンクされているアプリケーションソフト「PhotoBase」が起動して、その画像が表示されます。

(COPY) ボタンを押したとき

Toolbox が起動し、メイン画面、「コピー」の設定画面が表示されます。続いてスキャンが実行され、そのまま印刷が実行されます。

(E-MAIL) ボタンを押したとき

Toolbox が起動し、メイン画面、「メール」の設定画面が表示されます。続いてスキャンが実行された後、メールソフトが起動して、その画像が添付ファイルとなっている送信メールが表示されます。(なお、メールソフトがまだ選択されていない場合には、表示される「E-mailソフトの選択」の画面で使用するメールソフトを選択してください)

(PHOTO) ボタンを押したとき

Toolbox が起動し、メイン画面、「フォト」の設定画面が表示されます。続いてスキャンが実行された後、リンクされているアプリケーションソフト「PhotoRecord」が起動して、その画像が表示されます。(D1250U2Fのみの機能です)


スキャナのボタンを使う (3 / 3)

重要

- ・Windows XP (Professional または Home Edition) をお使いの場合、スキャナのボタンを押したとき、「ファイルのオープンに失敗しました」というエラーメッセージが表示され、スキャンできないことがあります。このときは、[OK] をクリックして、Toolbox の設定画面に戻り、「スキャン画像の保存先」の[参照] をクリックした後、保存先フォルダを「Windows XP にログインしたときのユーザー名と同じ名前のフォルダ」に設定してください。

どんな設定でスキャンされる？

ボタンを押すだけで、スキャンまで自動的に実行されるでは、そのスキャンはどんな設定で行われるのでしょうか。「画像タイプは？」「読み取り解像度は？」「原稿サイズは？」。

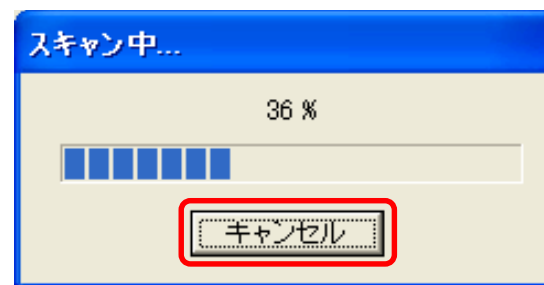
答は「その機能の設定画面で、一番最近指定した設定でスキャンされる」です。たとえば、Toolbox を起動し、メイン画面で[コピー] ボタンをクリックし、コピーの設定画面で「画像タイプ：グレースケール」「読み取り解像度：標準」「原稿サイズ：A5縦」と設定してコピーを実行したとしましょう。その後、スキャナ前面の  (COPY) ボタンを押したとすると、そのスキャンは「一番最近指定した設定」、つまり「画像タイプ：グレースケール」「読み取り解像度：標準」「原稿サイズ：A5縦」で実行されることになります。

参考

- ・スキャナのボタンで実行されるスキャンの設定を、あらかじめ設定しておきたい場合は、次の操作を行います。Toolbox を起動してメイン画面で目的の機能のボタンをクリックします。その設定画面で各設定を行った後、[適用] をクリックします。続いて[キャンセル] ボタンをクリックし、画面を閉じます。これでスキャンを実行することなく、スキャンの設定を行うことができます。

ボタンを押したあと設定を変更する


ボタンを押したあとに、スキャンの設定を変更したくなった場合には、スキャンが終わる前(次のような画面が表示されているとき)に[キャンセル] をクリックします。



[キャンセル] をクリックすると、スキャンが中止され、設定画面の表示に戻ります。あらためて設定を行ってからスキャンを行ってください。

スキャナのボタンの役割を変更する (1/2)

スキャナ前面のボタンを、Toolboxの別の機能に割り当てることができます。

たとえば、原稿をスキャンして、画像ファイルとして特定のフォルダにどんどんためていく作業が多い場合には、
 (SCAN) ボタンを、「保存」の機能に割り当てておく
と便利でしょう。

ここでは、スキャナ前面のボタンに他の機能を割り当てる方法を説明します。

重要

- ・D1250U2Fの原稿台カバーのPHOTOボタンは、「フォト」に固定されています。他の機能に割り当てることはできません。

1. Toolboxを起動し、メイン画面を表示させます。
2. [設定]をクリックします。



3. 役割を変更したいボタンの下のボックスをクリックし、割り当てたい機能を選択します。



スキャナのボタンの役割を変更する (2/2)

4. [OK] をクリックします。



これで、ボタンの役割が変更されました。



参考

- ボタンの役割として [メイン画面表示] を選択した場合には、ボタンを押すとToolboxのメイン画面(上記の画面)が表示されるようになります。
- [初期設定に戻す] をクリックすると、画面の各項目が初期設定(インストール直後の設定)に戻ります。

スキャナを選択する

本Toolboxに対応したスキャナを2台以上接続している場合に、使用するスキャナを選択する操作です。

1. Toolboxを起動し、メイン画面を表示させます。
2. [設定]をクリックします。



3. 「スキャナ：」の右のボックスをクリックし、使用するスキャナ（スキャナドライバ）を選択します。



4. [OK]をクリックします。



これで、スキャナが選択されました。

他のアプリケーションソフトをリンクする (1 / 2)

「スキャン-1 ~ 2」や「フォト」のボタンで起動するアプリケーションソフトを変更する操作です。

重要

- ・画像を受け取ることのできないアプリケーションソフトをリンク（登録）することはできません。

参考

- ・Toolbox からアプリケーションソフトに渡すことのできる画像は、カラー 24bit、グレースケール 8bit、白黒 1bit のいずれかとなります。これ以外のbit数で構成される画像をアプリケーションソフトに渡すことはできません。

1. Toolbox を起動し、メイン画面を表示させます。
2. [スキャン-1][スキャン-2][フォト]のいずれかのボタンをクリックします。



3. [設定] をクリックします。



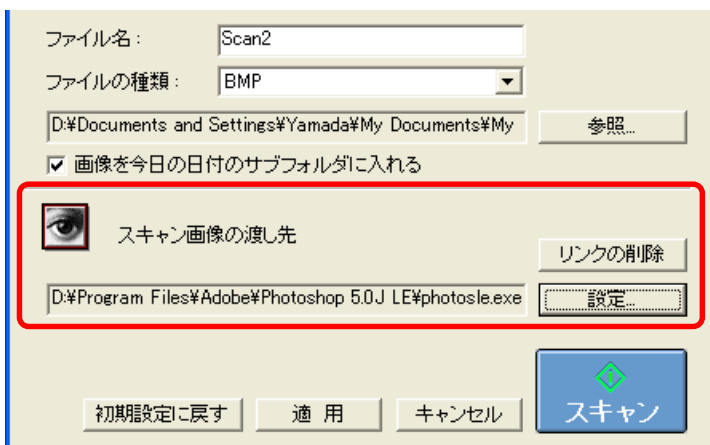
4. リンクするアプリケーションソフトを選択します。



他のアプリケーションソフトをリンクする (2/2)

5. [開く] をクリックします。

リンク先となるアプリケーションソフトが設定されます。



6. [適用] をクリックしします。

アプリケーションソフトのリンク先が決定し、ボタンに選択したアプリケーションソフトのアイコンが表示されます。(ただし、「フォト」の場合、アイコンの変化はありません) 続いて [キャンセル] をクリックすると、アプリケーションソフトのリンクが完了します。



参考

・「スキャン-1」または「スキャン-2」に割り当てたアプリケーションソフトのアイコンの下のボタン名の部分ををクリックすると、文字入力ができる状態になります。キーボードを使ってリンクしたアプリケーションソフトの名前を入力することができます。アプリケーションソフトの名前は、半角8文字(全角4文字)までの文字で入力します。文字の入力が終わったら、[Enter] キーを押します。



ファイル形式について

Toolbox では、スキャンした画像を保存するとき、画像ファイルのファイル形式を選択することができます。ここでは、各ファイル形式の特徴を紹介します。

■ BMP ファイル

Windows の標準的なビットマップファイル形式です。Windows のほとんどのアプリケーションソフトが、この形式に対応しています。Windows 上だけで画像ファイルを活用する場合には、よく用いる形式です。一般に「.bmp」という拡張子が使われます。

■ JPEG ファイル

ISO の団体「Joint Photographic Experts Group」が提唱した画像フォーマットです。この形式は圧縮率が高いのが特徴です。もともとのデータサイズの 1/10 ~ 1/50 の圧縮が可能です。ただし、この形式の圧縮は非可逆圧縮と呼ばれる圧縮のため、圧縮時に一部のデータを消失します。これは最初の状態には戻らない、つまり「画像が少しだけ劣化する」ということです。このため、何度も「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返すと、だんだん劣化が目立つようになってきます。一般に「.jpg」という拡張子が使われます。画像タイプが白黒のときには選択できません。

■ PNG ファイル

PNG (Portable Network Graphics) 形式は、WEB (ホームページ) 上での利用を中心に広まりつつある画像フォーマットです。画像は圧縮された状態で保存されますが、可逆圧縮であるため、何度「ファイルを開いて加工して保存」という作業を繰り返しても画像の劣化はありません。一般に「.png」という拡張子が使われます。

■ TIFF ファイル

「Tagged Image File Format」の略称です。さまざまなコンピュータ上、アプリケーション上で、比較的互換性の高いファイル形式です。ただし、ファイルの先頭にタグと呼ばれるデータを付加することでファイル形式を拡張できる特徴を持つため、場合によっては互換性のないデータも存在します。一般に「.tif」という拡張子が使われます。

Toolboxをアンインストールする

何らかの目的で、Toolboxをアンインストールする（削除する）場合には、次の操作を行います。

重要

- ・ Windows 2000 Professionalでのアンインストール作業は、かならずAdministratorの権限でログオンしてから行ってください。
- ・ Windows XP Professional、Windows XP Home Editionでのアンインストール作業は、かならず「コンピュータの管理者」として設定したユーザ名でログオンしてから行ってください。

1. [スタート]をクリックし、[すべてのプログラム]（または[プログラム]）の[Canon ScanGear Toolbox 3.1]から[ScanGear Toolbox 3.1のアンインストール]を選択します。

あとは、表示されるメッセージにしたがって操作を進めてください。

参考

- ・ 何らかの原因で[ScanGear Toolbox 3.1のアンインストール]が見つからないときには、次の操作でアンインストールを実行してください。

1. [スタート]をクリックし、[コントロールパネル]を選択します。
 - ・ Windows 98、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Editionをお使いの場合は、[スタート]をクリックし、[設定]の[コントロールパネル]を選択してください。
2. [プログラムの追加と削除]（または[アプリケーションの追加と削除]）を選択します。
3. [Canon ScanGear Toolbox 3.1]を選択し[変更と削除]（または[追加と削除] [変更/削除]）をクリックします。
 - ・ 以降は、表示されるメッセージにしたがって操作を進めてください。

初期設定一覧

下記の表は、各設定画面の初期設定です。
(表内の「-」は選択できないことを示します)

参考

- 各設定画面の [初期設定に戻す] をクリックすると、初期設定の状態に戻ります。ただし、スキャンした画像の保存先、渡し先 (リンク先) を変更している場合は、その情報も初期設定の状態に戻ります。

項目	コピー	メール	OCR	保存	スキャン -1, 2	フォト (*2)
画像タイプ	カラー (プリント写真)	カラー (オートクロップ)	白黒	カラー (プリント写真)	カラー (プリント写真)	原稿タイプ: カラーネガフィルム
読み取り解像度	標準 (150dpi)	-	400dpi	75dpi	75dpi	高画質 (1200dpi)
原稿サイズ	A4	-	A4	A4	A4	35mm フィルム
スキャンドライバで詳細な設定を行う	オフ	オフ	-	オフ	オフ	オフ
ファイル名	-	Mail	OCR	Save	Scan1 または Scan2	Photo
ファイルの種類	-	- (JPEG または PNG)	BMP	BMP	BMP	BMP
保存先 (*1)	-	マイ ドキュメントの マイ ピクチャフォルダ	マイ ドキュメントの マイ ピクチャフォルダ	マイ ドキュメントの マイ ピクチャフォルダ	マイ ドキュメントの マイ ピクチャフォルダ	マイ ドキュメントの マイ ピクチャフォルダ
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる	-	オン	オン	オン	オン	オン
その他	明るさ: 中央 拡大 / 縮小: 等倍 プリンタの設定: 選択されているプリンタの初期設定	添付ファイルの上限: 150KB	スキャン画像の渡し先 (*3): e-Typist エントリー		スキャン画像の渡し先 (*3): PhotoBase (スキャン -1) Photoshop Elements (スキャン -2)	スキャン画像の渡し先 (*3): PhotoRecord

*1 Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Editionをお使いの場合、具体的な保存先は「¥Documents and Settings¥ユーザー名 ¥My Documents¥My Pictures」フォルダとなります。これ以外の Windowsをお使いの場合には、「¥My Documents¥My Pictures」フォルダとなります。

*2 表の「フォト」の記載は、D1250U2F のものです。D1250U2 の場合は、原稿タイプ: カラー写真、読み取り解像度: 高画質 (300dpi)、原稿サイズ: L 判横になります。

*3 別冊の「スタートガイド」の記載にしたがってインストールした場合にリンク (登録) されているアプリケーションソフトです。

索引

英数字・記号

BMP ファイル	37
COPY ボタン	29
E-MAIL ボタン	29
JPEG ファイル	37
MAPI	23
OCR	24
PhotoBase	26
PhotoRecord	27
Photoshop Elements	26
PHOTO ボタン	29
PNG ファイル	37
ScanGear Toolbox	6
SCAN ボタン	29
TIFF ファイル	37
Toolbox	6

ア行

明るさ	20
アプリケーションソフトの名前	36
アンインストール	38
インストール	7

カ行

拡大 / 縮小	20
画像タイプ	14
画像を今日の日付のサブフォルダに入れる	18
カラー (オートクロップ)	14
カラーマルチ写真	27
カラー (マルチ写真スキャン)	14
起動	8
共通の設定項目	13
クローズボックス	9
原稿サイズ	15
原稿タイプ	27
コピー	19

サ行

終了	9
初期設定	39
初期設定に戻す	18
スキャナドライバで詳細な設定を行う	16
スキャナの選択	34
スキャナのボタン	29
スキャン-1 ~ 2	26
スキャン画像の渡し先	18
スキャン画像の渡し先 (メール)	23

スキャンギア ツールボックス	6
スキャンの設定	31

タ行

ツールボックス	6
適用	18, 31
添付ファイルサイズの上限	22
動作環境	7

ハ行

ファイル形式	37
ファイルの種類	17
ファイル名	17
フィルム	27
フォト	27
プリンタの設定	21
保存	25
保存先	17
ボタン (Toolbox 画面)	10
ボタン (スキャナ)	29

マ行

メール	22
メイン画面	8
モアレ	15

ヤ行

読み取り解像度	15
読み取り解像度 (OCR)	24
読み取り解像度 (コピー)	19
読み取り解像度 (スキャン-1 ~ 2)	26
読み取り解像度 (フォト)	28
読み取り解像度 (保存)	25
読み取り解像度 (メール)	23

ラ行

リンク	35
-----	----